

にしおの

世界に挑戦
水泳選手・石川慎之助

おっ!



profile

石川慎之助

吉良町在住。平成12年12月生まれの16歳。中京大学附属中京高校2年生。好きな食べ物は母の手料理と、祖父母が作った野菜。悩みは水泳と勉強を両立すること

将棋界では、瀬戸市出身で14歳の藤井聡太四段がプロデビュー後公式戦29連勝という歴代最多連勝記録を樹立し、世間を驚かせましたが、西尾市にも注目の若手があります。吉良町在住の水泳選手、石川慎之助さんです。

石川さんは8月23日〜28日にアメリカ・インディアナポリスで開催される第6回世界ジュニア選手権の男子バタフライ日本代表に選ばれ、今まさに世界へ羽ばたこうとしています。

水泳を始めたのは、5歳の時。喘息を持っていた弟の体力づくりのため、両親が水泳と一緒に習わせたことがきっかけです。小さい頃は特別に速い選手というわけではなく、水泳教室でできた友だちと泳ぐことが楽しくて続けていたそうです。そんな石川さんが頭角を現し始めたのは、中学生の頃。3年生の時に出場した第55回全国中学校水泳競技大会の100メートルバタフライで見事優勝を果たします。同年の第8回アジアAG選手権の100メートルバタフライ

イでも優勝するなど、次々と表彰台に上ります。昨年9月に行われた第71回国民体育大会の少年B100mバタフライでは、大会新記録で優勝。今年4月の第93回日本選手権の100mバタフライで、世界ジュニアの派遣標準記録を突破し、今回日本代表に選ばれたのです。

現在は中京大学附属中京高校に通いながら、平日は約2時間、休日には1日中練習に励んでいます。「伸び悩むこともあるけど、コーチが付きつきりで泳ぎのフォームを見てくれるから、克服できている。スランプになっても焦らずに、コーチと自分を信じてがんばっている」。水泳を始めた5歳の頃から指導を受けている磯貝コーチとは10年以上の付き合いで、強い信頼関係で結ばれています。磯貝コーチも「小さい頃から周りの友だちと一生懸命練習しているのを見ていけるけど、その努力は本当にすごい。最近はどうな場所か泳いでも、実力を出すことができるようになってきた」と石川さんの成長をうれしそうに話してくれました。

「今の自分の実力では、まだまだだなことは分かっているけど、東京オリンピック出場も視野に入れてがんばっている。このままだ調子が続けば、見えてくるかもしれない。そのために、一本一本のレースを大切に泳いでいきたい」



上／練習中の石川さん。泳いでいるときが一番生き生きしているそう。下／所属するパルスイミング西尾(今川町)で磯貝コーチと



と今後の目標を力強く語ってくれました。「練習が多く、学校の勉強が思うようにできなかったりして辞めたくなることもあるけど、泳ぐことが好き、楽しいという気持ちがある。いつも自分を押しつけている。すごいと思う選手もたくさんいるけど、誰かのまねはしない。何かのために頑張るといってもなくて、水泳が楽しいという気持ちで続けてきた。これからもとにかく楽しむ気持ちを持ち続けていきたい」。瞳を輝かせながらそう話してくれました。

まだあどけなさも残る16歳ですが、世界を相手に戦っています。心から水泳を楽しみ、目標に向かって前進している石川さんの今後の活躍に期待です。(原田成美)



今年3月、矢田つぼみ保育園の園児に似顔絵をプレゼント

似顔絵を描いて脳を活性化 (認知症予防)

楽しいアート

楽しいアートは23年度に行われた講座から発展したサークルで、活動開始後5年が経過しました。現在の会員は12人。年齢や性別はさまざまですが、山崎三千秋先生の指導の下、家族や友人、有名人、時の人の似顔絵や、静物の水彩画などを楽しく描いています。

毎年7月には寺津ふれあいセンター七夕展で作品を展示し、12月には同センターフエスティバルで作品の展示と似顔絵の実演も行っています。市民病院のロビーにも年2回程、患者さんを癒やすために作品を展示しているほか、矢田つぼみ保育園の園児に、卒園記念として似顔絵と将来の夢を描いてプレゼントしています。

現在、会員募集中です。毎月第2木曜日の午後1時30分～3時30分に寺津ふれあいセンターで活動しています。とても楽しい雰囲気、みんなの憩いの場となっており、似顔絵を描くことで脳の活性化にもつながっています。ぜひ一度、見学にお越しください。

町) 小林 (☎59・4215/寺津

このコーナーに登場してくれるサークル・ボランティア団体を募集しています。詳しくは、秘書課広報担当 (☎65・2159) へ。



そつすけ
尾崎 湊亮くん
(大和田町)

平成27年8月生まれ
おねちゃんのまねっこ大好き♡ いつまでも姉弟仲良くいてね!



ときあつ
中村 旬淳くん
(針曾根町)

平成27年7月生まれ
いつも笑顔で食いしん坊! マイペースなところがみんな大好き♡



ひより
太田 陽愛ちゃん
(米津町)

平成28年5月生まれ
いつも笑顔が爆発します! ひよちゃんはみんなの太陽だよ♡



りょうま
相川 凌真くん
(富山町)

平成28年5月生まれ
凌真の笑顔はみんなの癒やし♡ 元気に生まれてくれてありがとう。



あおい ひなた
高須 葵ちゃん・日向ちゃん
(一色町)

平成27年8月生まれ
甘えん坊のあおちゃん。いたずらっ子のひなちゃん。これからも2人仲良く、元気に育ってね!



あおと
稲垣 蒼杜くん
(上町)

平成27年7月生まれ
元気いっぱいたくましいあおくん。強くて優しい子に育ってね♪



あやの
鈴木 綾乃ちゃん
(徳次町)

平成27年8月生まれ
いちご大好きおてんば綾ちゃん☆ これからも元気に育ってね♡

キ
ツ
ズ
ア
ル
バ
ム

西尾市史ニユース 15

市内最古の寺を発掘！

岩瀬文庫学芸員 三田敦司

「鳥羽の火祭り」で有名な鳥羽神明社の境内からは古代の瓦が採集されています。以前からこの付近に古代寺院があったことが想定され、鳥羽廃寺または鳥羽神宮寺跡と呼ばれています。

遺跡の遺存状況を確認するため、今年の5月に鳥羽神明社境内で初めて調査を実施しました。瓦が散布している地区の近くに幅1m、長さ14mの調査区を2本設定して発掘したところ、第2調査区南端1m×1.5mの範囲から集中して瓦が出土しました。狭い範囲ですが、出土

した瓦はバケツ9杯分にもなり、この付近に瓦葺きの建物が存在した可能性が高まりました。瓦が出土した場所の周りの平地は狭く、五重の塔や金堂、回廊などを備えた本格的な寺を建てられる地形ではないため、仏像を納めた仏堂のみの小規模な寺であったと推定されます。



出土した軒の平瓦

鳥羽廃寺の瓦は、軒瓦の花弁の文様や製作技法から、7世紀後半の飛鳥時代の製作と考えられています。このころ、飛鳥の都では白鳳文化が栄えていましたが、地方の庶民は縄文時代とあまり変わらない竪穴住居で生活していました。こうした時代に、瓦葺きの寺を初めて見た当時の人々は、さぞ驚いたことでしょう。

古代の幡豆郡の郡役所(郡衙)は、現在の西幡豆町周辺に置かれていたと推定されており、鳥羽廃寺は幡豆郡司を務めた有力者が氏寺として創建したと考えられます。



瓦が集中して出土した様子

岩瀬文庫 (☎56・2459)

月刊!! スポーツにしお

Vol.29

気をつけよう、スポーツによる「熱中症」

熱中症とは、暑さによって生じる傷害の総称で、熱失神、熱疲労、熱けいれん、熱射病などの病型があります。かつては労働現場で問題になっていましたが、現在ではほとんどなくなり、代わってスポーツによるものが問題となっています。スポーツで主に問題となるのは熱疲労と熱射病です。熱疲労は発汗による脱水と皮膚血管の拡張による循環不全の状態のことで、脱力感や倦怠感、めまい、頭痛、吐き気などの症状がみられます。

熱射病は体温調整が破綻し、体温が40℃以上と過度に上昇して脳機能に異常をきたす状態のことをいいます。

熱中症を疑う症状になっただけなら、まず意識障害の有無を確認しましょう。意識障害



害があれば、救急隊を要請するとともに、涼しい場所へ移動して衣服を緩め、体を冷やします。意識障害がなければ、涼しい場所へ移動し、水分と塩分を補給させます。水分を摂取できないときや、症状が改善しないときは医療機関へ搬送します。



また、暑いときに無理な運動をしても効果は上がりません。多量の発汗によって脱水が体重の2%以上になると、運動能力が著しく損なわれるので、水分を適切に補給する必要があります。一方、脱水とは逆に、水分を取りすぎると低ナトリウム血症(水中毒)になる弊害もあります。

スポーツによる熱中症は、トレーニングの面でマイナスになるだけでなく、ひとたび起これば人命に関わるので、熱中症に対する関心や知識を深めることは大変重要です。

スポーツ課振興担当 (☎54・0002/総合体育館内)

西尾市のデータ

■人口

	7月1日現在	前月比
男性	86,847人	+10人
女性	84,825人	-11人
計	171,672人	-1人
世帯数	63,029世帯	+36世帯

■交通事故の状況

	人身事故 件数	死傷者	
		負傷者	死亡者
6月	72件	80人	0人
29年累計	356件	417人	0人

■犯罪発生の状況

	刑法犯総数	侵入盗	特殊詐欺
6月	64件	17件	0件
29年累計 (被害総額)	407件	74件	3件 100万円

■消防の状況

	火災	救助	救急
6月	11件	5件	481件
29年累計	52件	24件	3,263件

今月の表紙

毎年8月26日・27日に開催される、三河一色大提灯まつり。かつて海の魔物を鎮めるためにかがり火をたいたのが起源といわれています。6組12張の大提灯は、最も大きなもので直径5.6m、長さ10m。夜の間に幻想的に浮かび、ずらりと並ぶ姿は壮観です。大迫力で一色の夏を彩る大提灯を、ぜひご覧ください。

編集雑記

広報にしおで1歳半～3歳未満のお子さんを毎月8人ずつ掲載している「キッズアルバム」コーナー。年2回、5月1日号と11月1日号で96人ずつ募集しています。応募できるチャンスは3回。毎回たくさんの応募があり、抽選となっています。当選確率は申し込みが多い時で40%、29年5月1日号で募集した時は72%でした。この3年で、1番高い確率でした。次回の募集は11月1日号。この数回、応募総数が少ないのでチャンスかも。(ゆ)

スクールスマイルショット

School Smile Shot

●鶴城小学校

6月16日、けやき集会が開催され、多くの観客を前に2・4・6年生が歌声を披露。最後は全校児童で「僕らは鶴城の子どもたち」を熱唱しました。次回開催は2月、1・3・5年生が発表します。



●鶴城中学校

夏の大会を目前に控えた7月6日、部活動に燃える会が行われました。3年生は大会への意気込みや目標を部活動ごとに力強く発表。後輩たちは全力で校歌を歌い、先輩たちへ熱いエールを送りました。



●横須賀小学校

7月6日、七夕集会所が行われ、七夕の物語の読み聞かせやゲームを楽しみました。各クラスの代表がクラスの目標を元気に発表し、実現できるようにみんなでお祈りしました。



【西尾市役所】

URL (パソコン) <http://www.city.nishio.aichi.jp/>
(携帯電話) <http://www.city.nishio.aichi.jp/mob/>

E-mail nishio@city.nishio.lg.jp

- 本 庁 ☎0563・56・2111 (代表)
〒445-8501 西尾市寄住町下田22
- 一色支所 ☎0563・72・7111 (代表)
〒444-0492 西尾市一色町一色東前新田8
- 吉良支所 ☎0563・32・1111 (代表)
〒444-0596 西尾市吉良町荻原川畑20
- 幡豆支所 ☎0563・62・5511 (代表)
〒444-0798 西尾市西幡豆町仲田14-2



バーコード対応の携帯電話などで読み取ると「モバイル@西尾市役所」が閲覧できます。